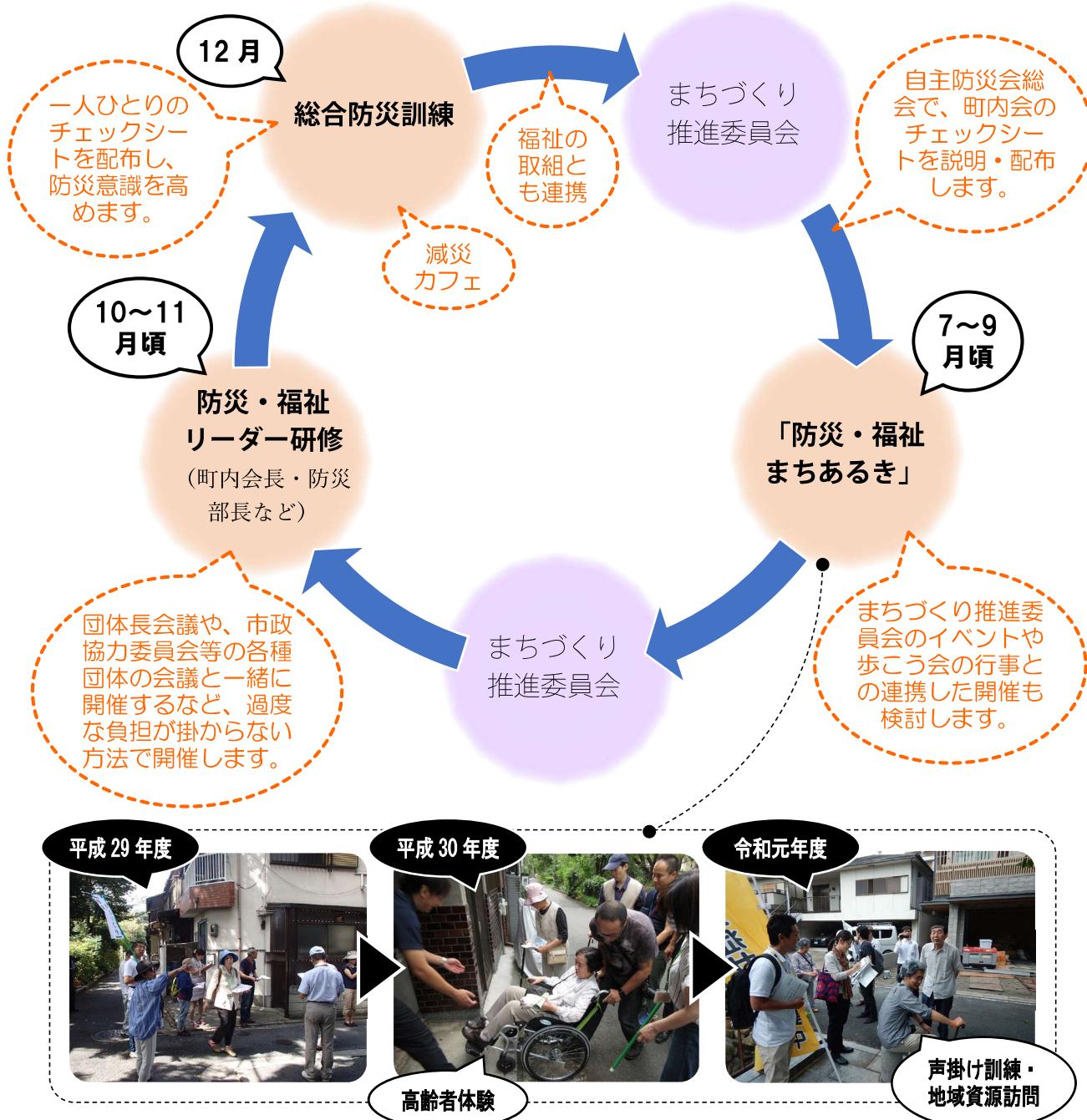


第4章 防災まちづくりの進め方

(1) 防災まちづくりの取組のスケジュール

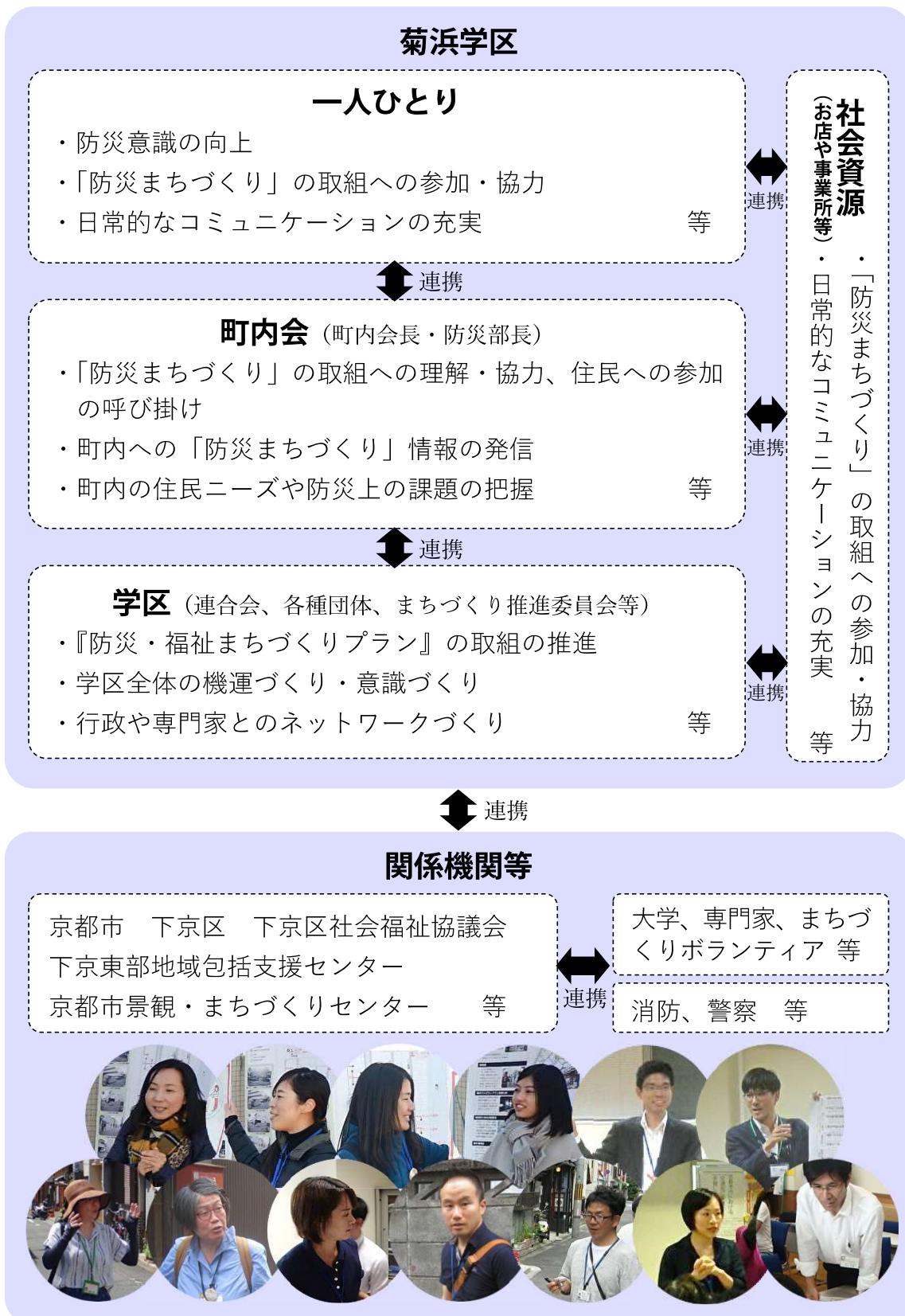
防災まちづくりの取組は、これまで3年間取り組んできた「防災・福祉まちあるき」や総合防災訓練での防災まちづくりコーナーを基本として、学区の防災力を継続的に高めていきます。

「防災・福祉まちあるき」は、参加者からの評価が高いことから、子どもや高齢者、障がいのある方、福祉事業所とのネットワークづくりなど、毎年、まちづくり推進委員会でテーマを企画・検討し、楽しみながら防災まちづくりの意識を高めていきます。



(2) 主体ごとの役割

菊浜学区では、一人ひとり、町内会、学区、社会資源が相互に協力・連携を図りながら、防災まちづくりの取組を進めていきます。また、防災まちづくりの取組に当たっては、関係機関等とも連携して取り組んでいきます。



(3) 「一人ひとり」の役割

災害に強いまちをつくるためには、一人ひとりの防災まちづくりの取組が不可欠です。防災・福祉まちあるきや総合防災訓練など、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用して、一人ひとりの防災まちづくりの取組を確認します。

防災まちづくりチェックシート 自分が取り組んでいることを確認しよう！

菊浜学区の目指すまちの将来像

「ほっ」と安心 「いきいき」と生活 「きらり」と未来
“繋がり”でつくる災害に強い菊浜のまち

自分が取り組んで
いることに✓を
つけましょう！

チェック欄
↓

基本方針1 繋がりを大切にしてみんなで災害に備える

- ①防災用食料（3日分）を準備している
- ②回覧板などで防災に関する情報を確認している
- ③ハザードマップで自宅周辺の被害の状況を確認している
- ④燃えやすいものを自分の玄関先に置かないようにしている
- ⑤日ごろからあいさつをしたり、近所付き合いを大切にしている
- ⑥「防災」に関する寄り合いや行事（防災訓練等）に参加している
- ⑦今の自分の町内の防災部長を知っている

基本方針2 倒れない・燃えにくい「いえ」をつくる

- ⑧家具の固定などの家の中の安全対策をしている
- ⑨いつも寝ている場所を近所の人に知らせている
- ⑩畳たたこやコンセントのはこりなど、火事に気を付けている
- ⑪耐震診断や耐震改修などに関する市の補助金があるのを知っている
- ⑫自分の町内にある空き家を知っている

基本方針3 安全に避難できる「みち」をつくる

- ⑬自転車や植木など、自宅の周りは整理・整頓している
- ⑭災害時の「地域の集合場所」への避難経路を確認している
- ⑮自宅の近くにある路地の愛称を知っている

基本方針4 地域の資源を活かして安全な「まち」をつくる

- ⑯駐車場など、災害時の避難に役立つ場所を確認している
- ⑰自分の町内の「地域の集合場所」を知っている

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることも考えられるため、災害に備え、3日分以上の水・食料の備蓄をしましょう。



日頃からあいさつをしたり、ご近所さんとのコミュニケーションを大切にしましょう。



家具を固定したり、地震に強い家に改修するなど、命を守るようにしましょう。



町内の「地域の集合場所」への避難経路は、日頃から安全かどうか、確認しておきましょう。



防災まちづくりに関する情報は回覧板で確認するようしましょう。また、回覧板を回すときは、なるべく声掛けしながら相手に渡しましょう。



災害時には、自分の命を守る「自助」とともに、隣近所が支えあう「共助」が大切です。防災訓練では、隣近所が支えあう力を確認しましょう。



身近なところの空家は確認しておきましょう。危険な空き家は、市役所や区役所へも連絡しておきましょう。



高瀬川は菊浜学区の大切な資源です。日頃から高瀬川の環境を大切にしましょう。



(4) 「町内会」の役割

町内会の防災まちづくりの取組についても、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用して、確認します。

町内会で取り組んでいることに✓をつけましょう！

基本方針1 繋がりを大切にしてみんなで災害に備える

- | チェック欄
↓ |
|--|
| ①町内会の総会で防災の話をする、取組を引き継ぐ |
| ②自分で防災バケツを置くことが難しい高齢者や障がいのある方の手助けをしながら、防災バケツを配置する |
| ③ワンルームマンションや町内会に入っていない方とも繋がる |
| ④定期的に消火器や防災器具を点検する |
| ⑤緊急連絡網を整える |
| ⑥町内の現状やリスクを踏まえ、災害に応じた安否確認や避難方法、高齢者などが安全に避難できる体制や役割を考える |
| ⑦事業者やお店の方に、町内会の寄り合いへの参加を声掛けする |
| ⑧水害の時に、ホテルやマンションなどに一時的に避難させてもらえる関係をつくる |
| ⑨ゲストハウスの連絡先を把握・管理する |

基本方針2 倒れない・燃えにくい「いえ」をつくる

- | |
|--|
| ⑩火災報知器の設置や家具の転倒防止の呼び掛けをする、取り付けを支援する |
| ⑪回覧板などで、耐震診断や耐震改修・防火改修等に関する支援制度などを情報発信する |

基本方針3 安全に避難できる「みち」をつくる

- | |
|--|
| ⑫町内の住民がみんなで一緒に避難したくなる方法を考える |
| ⑬耐震診断や耐震改修・防火改修、ブロック塀の改善等に関する支援制度を情報発信する |

基本方針4 地域の資源を活かして安全な「まち」をつくる

- | |
|---------------------------------|
| ⑭駐車場など、災害時の避難に役立つ場所を確認する |
| ⑮路地の愛称、「地域の集合場所」を町内で共有する、啓発を続ける |
| ⑯高齢者や障がいのある方と一緒に避難訓練をする |

(5) 具体的な取組メニュー

防災・福祉リーダー研修や総合防災訓練では、一人ひとりの防災意識の向上や町内会の防災力を高める視点から、以下の取組を検討・実施します。

	取組メニュー（案）
防災まちあるき（7～9月頃）	<p>★定期的なまちの点検 (概要) ホテル建設などのまちの変化や、まちの危険なところを確認したり、「すぐにできる対策」を現地で学ぶなど、一人ひとりの防災意識を高める</p> <p>★声掛け訓練、高齢者体験など「福祉」からのまちあるき (概要) 福祉関係者の方々や福祉事業所などと協力しながら、高齢者や障がいのある方などの視点・特性を体験し、そうした方々にとっても安全なまちにするための取組などを確認</p> <p>★耐震ローラー作戦 (概要) 重要な避難経路等の昭和56年以前の木造住宅を対象として、専門家とともに、耐震化の大切さを伝え、市の助成制度の活用を呼び掛ける</p>
防災・福祉リーダー研修（10～11月頃）	<p>★「防災まちづくり」の勉強会、意見交換会（ワークショップ） (概要) 町内会長や防災部長を対象に、町内会のリーダーとして、「防災まちづくり」の取組や助成制度等を学習したり、町内の課題を解決するための対策などについて意見交換</p> <p>★避難所運営ゲーム（HUG） (概要) 大規模災害時における避難所での避難者対応や出来事などをゲーム感覚で模擬体験し、避難所運営に関する知識や運営側のポイント等を学習</p> <p>★福祉に関する学習会 (概要) 災害に強いまちをつくるために必要となる「福祉」分野の考え方や具体的な取組などを学習し、意見交換</p>
総合防災訓練（12月頃）	<p>★「一人ひとり」の役割の取組状況の確認（チェックシートの活用） (概要) 災害に強いまちをつくるための「一人ひとり」の役割に関するチェックシートを記入して頂き、取組状況を確認。特に重要な取組について、参加者で確認し、行政や専門家等からアドバイスを行う</p> <p>★「防災まちづくり」に関する意向調査 (概要) 地域の魅力や危険な箇所、学区全体で取り組んで欲しい取組などを、簡単なアンケート調査等によって把握</p> <p>★高齢者や障がいのある方との避難訓練 (概要) 幾つかの町内を対象にするなど、工夫を凝らしながら、災害時に安否確認や避難の支援が必要な方に声掛けし、避難訓練を実施</p>



京都 菊浜学区 防災・福祉まちづくりプラン

【発行年月】令和2年3月

【編集・発行】菊浜連合会 菊浜まちづくり推進委員会 菊浜学区民

140th
下京区誕生140周年



表紙のデザインは、学区の将来ビジョンである「住みずみ菊浜かるた三十帖（デザイン・イラストレーション 中西晶子氏）」を使用しています。